

コープデリグループの子育て応援の取り組みが「第12回キッズデザイン賞」 消費者担当大臣賞 受賞

コープデリ生活協同組合連合会（略称：コープデリ連合会、本部：埼玉県さいたま市、理事長：土屋 敏夫、会員生協：関東信越の7生協）は、特定非営利法人キッズデザイン協議会主催の「第12回キッズデザイン賞」において、全受賞作品252点の中から、SDGs（持続可能な開発目標）を基盤においたコープデリグループの子育て応援活動が評価され、優秀賞である「消費者担当大臣賞」を受賞しました。

【優秀賞】消費者担当大臣賞

- 受賞団体
コープデリ生活協同組合連合会
- 受賞作品名
コープデリの子育て応援
- 受賞部門
子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門
- 受賞カテゴリー
コミュニケーション 子育て支援



KIDS
DESIGN
AWARD
2018

キッズデザイン賞2018 ロゴマーク

【受賞理由】

SDGsの目標のひとつ「つくる責任 つかう責任」は消費者教育と密接につながるものである。1都7県にまたがるこのグループの子育て支援活動は多岐にわたるが、なかでも一年間にわたって米から餅になるまでを学ぶ生産体験、野菜の収穫、出荷、販売を体験できる産地見学イベントなどは食品の生産プロセスと消費の在り方を学ぶ良質なプログラムである。地方生産者の子どもたちによる都市での販売体験など、多面的な生産者と消費者との関係づくりに取り組む姿勢も社会的提案性が高い。

【受賞者コメント】

食を中心としたコープデリの事業や組合員・消費者参加の活動が子どもたちの未来を育み、また地域のネットワークを形成する一助として評価いただいたことを大変うれしく思います。これからもSDGsの実現に向け、子育て応援を始めとした多彩な活動を広げていきます。

コープデリグループは、消費地と生産地を内包し、約490万人が加盟する消費者組織です。特にSDGsの目標12「つくる責任 つかう責任」を消費者と生産者をつなぐテーマとして重視し、社会の子育て課題に対しては「誰ひとり取り残さない子育て」をテーマに、消費者、メーカー、産地、行政、諸団体を有機的に結ぶプラットフォーム機能を担うことで、個々の組織では実現しにくい活動を展開しています。

- ・コープデリグループの子育て応援の取り組みが「第12回キッズデザイン賞」消費者担当大臣賞を受賞しました
<http://www.coopnet.jp/info/2018/09/016777.html>
- ・「第12回キッズデザイン賞」 <https://kidsdesignaward.jp/>

《コープデリ生活協同組合連合会 概要》

- 【住 所】 埼玉県さいたま市南区根岸1-4-13
- 【理 事 長】 土屋 敏夫（つちや としお）
- 【会員生協】 コープみらい、いばらきコープ、とちぎコープ、コープぐんま、コープながの、コープにいがた、コープクルコ
- 【総事業高】 5,428億円（会員生協事業高計）※2017年度
- 【組合員数】 489万人（会員生協組合員計）※2018年8月20日現在
- 【ホームページ】 <http://www.coopnet.jp/>